

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-380

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/Audio Control

Clock Control

Tape Mode

Tuner Mode

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

Options

Help ? Operation
? Word

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

Tape, FM/AM放送、交通情報の聴きかた10

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

Help? Operation22

Help? Word25

付録

Appendices

取り付け時のご注意26

接続28

取り付け30

保証とアフターサービス31

仕様一覧32

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection/Audio Control12

ソース選択

dB EQUALIZER

オーディオコントロール

Audio Control/Clock Control14

スピーカーマッチング

交通情報音量設定

ラウドネスコントロール

時刻表示

時刻合わせ

Tape Mode16

早送り/巻戻し

ドルビーB NRシステム

リピートプレイ

テープポジションセクター

ブランクスキップ

テープアドバンス

Tuner Mode18

バンド切り替え

チューニング

オートメモリー

マニュアルメモリー

プリセットチューニング

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

External Disc Control20

- トラックサーチ
- マニュアルサーチ
- トラック/ディスクリピートプレイ
- ディスクサーチ
- トラックランダムプレイ
- マガジンランダムプレイ
- スキャンプレイ
- ポーズ

Functional Operation

Source Selection/Audio Control

Clock Control

Tape Mode

Tuner Mode

EZ Operation

Options

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

? Operation

? Word

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。

別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



テープの操作

テープをプレイする操作を表しています。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中に表示を目安にできます。



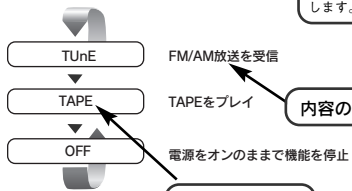
この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



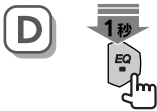
ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

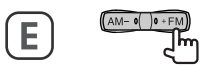
1 オーディオコントロールモードにします



“BAS” の表示が出るまで押し続けます。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

2 設定する項目を選択します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Source Selection/Audio Control

Clock Control

Tape Mode

Tuner Mode

Options

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

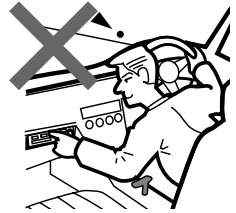
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



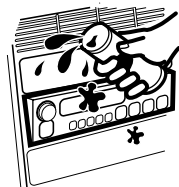
実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



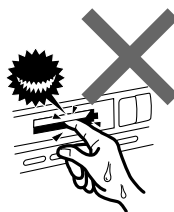
禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, RD-360が接続可能です。これらの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

取り付け時の注意

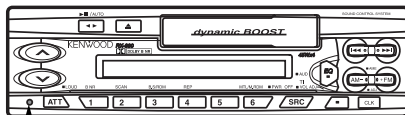
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧ください。なるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.22)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、カセットテープが取り出せないような場合は、本機の電源をオフにして、販売店へ相談してください。

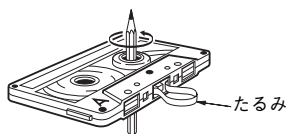
オートアンテナ付き車に 取り付けた場合

車両のラジオアンテナが自動で伸びるオートアンテナ付き車に取り付けた場合、本機の交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

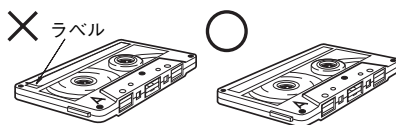
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、チューナーモード以外のソースに切り替えてください。

カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープはテープが大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起りやすいので使用しないでください。

エンドレステープは使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店などで市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

EZ Operation

テープのプレイは簡単！ テープを差し込むだけです。



カセットテープを取り出します。



カセットテープをプレイするときは…
プレイするカセットテープを差し込みます。



再生方向を切り替えます。
再生方向（A面とB面）が切り替わります。



音量をすばやく小さくします。
もう一度押すか、へボタンを押すと元の音量に戻ります。



音量を上げます。



音量を下げます。

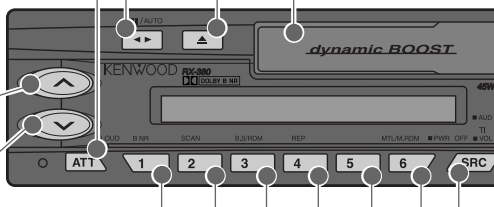


メモリーされている放送局を
選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局を、
ボタンにメモリーします。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴き
ください。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、
電源がオフになります。



カセットテープのプレイと
FM/AM放送を切り替えます。

テープが入っているときに押すと、TAPE、
FM/AM放送、OFFに切り替わります。



テープの操作



チューナーの操作



共通の操作



受信する放送局を選びます。

AUTO 1 インジケータが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。

AUTO 2 インジケータが点灯時はメモリーされている放送局を番号順に受信します。

AUTO インジケータが消えているときは周波数が1ステップ変わります。

(チューニングモードの設定は18ページをご覧ください)



交通情報の周波数を (1620KHz/
1629KHz/522KHz) に切り替えます。



早送りします。



FM放送のバンドを (FM I /FM II
/FM III) に切り替えます。




巻戻しします。

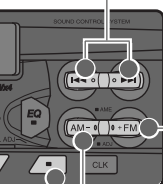


AM放送のバンドに切り替えます。



交通情報を受信します。

交通情報を受信中は  インジケータが点灯します。



Source Selection/Audio Control

Clock Control

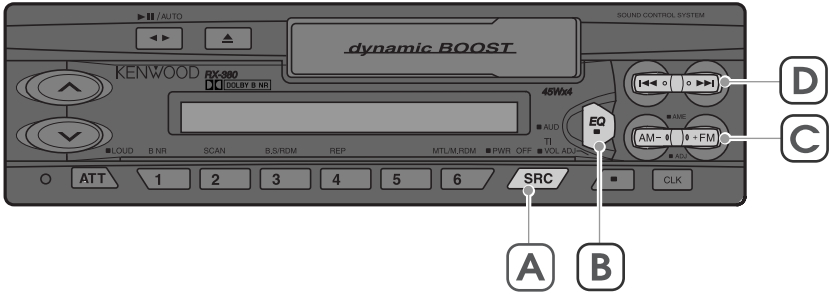
Tape Mode

Tuner Mode

Options

Help

Source Selection / Audio Control

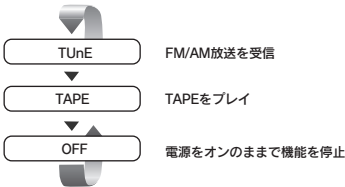


ソース選択

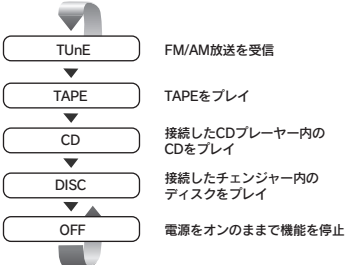
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。

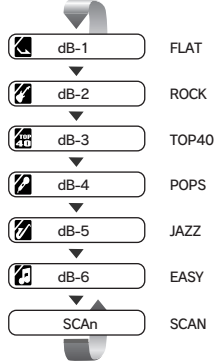


dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。オンになっているジャンルのインジケーターが点灯します。



- “SCAN”を選択中は、5秒間ごとに“dB-1”～“dB-6”の順で自動的に切り替わります。
- dB EQUALIZERはFM放送、AM放送、TAPE、CD、DISCの各ソースごとに設定できます。
- dB EQUALIZERの設定は、スピーカーマッチング(14ページ)の設定により変わります。スピーカーマッチングを先に設定してください。

プレイするソースを選びます。
また、音質バランスなどを調整します。

オーディオコントロール

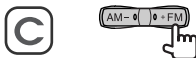
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



“BAS” の表示が出るまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

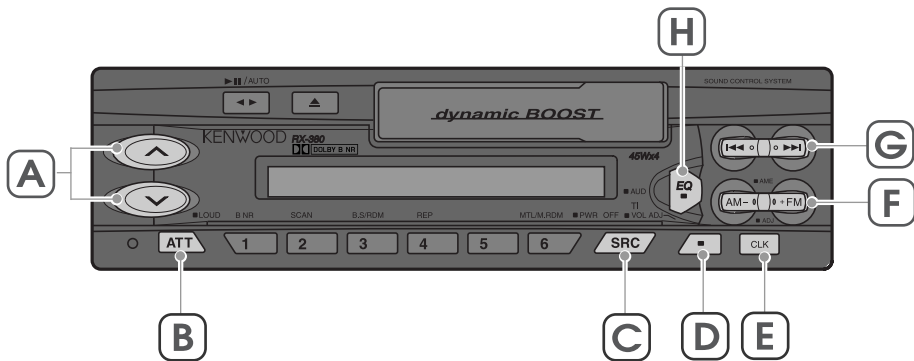
設定項目	設定値
BAS [バス] (低音の音量レベル)	-08~08
MID [ミッド] (中低音の音量レベル)	-08~08
TRE [トレブル] (高音の音量レベル)	-08~08
BL [バランス] (左右の音量レベル)	L[左]15~R[右]15
FD [フェーダー] (前後の音量レベル差)	R[後]15~F[前]15

● BAS/MID/TREは、FM放送、AM放送、TAPE、CD、DISCの各ソースごとに設定できます。

4 オーディオコントロールを終了します



Audio Control / Clock Control



スピーカーマッチング

音質をスピーカーに合わせて微調整をします。

1 ALL OFFモードにします



2 スピーカーマッチングモードにします



3 スピーカーの選択をします



押すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。

- SP-1** 標準的なスピーカーに合う設定
- SP-2** 周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定
- SP-3** 低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定
- SP-4** 低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定

交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



2 設定したい音量にします



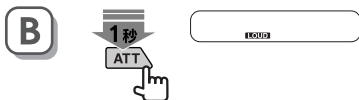
3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。もう一度押すと、交通情報モードは解除されます。次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

ラウドネスコントロール

高域音と低域音を強調してメリハリのある音質にします。



1秒以上押すたびに、ラウドネスコントロールがオン/オフされます。ラウドネスコントロールがオンのときは **LOUD** インジケーターが点灯します。

時刻を表示します。
また、時刻を合わせます。

時計表示

時計を表示します。



押すたびに、時計表示がオン/オフされます。
時計表示時中は **●** インジケータが点灯します。

● 電源がオフ中は時計表示できません。

時刻合わせ

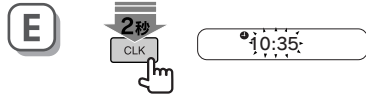
時刻を合わせます。

1 時計を表示します



時計表示時中は **●** インジケータが点灯します。

2 時刻合わせを開始します

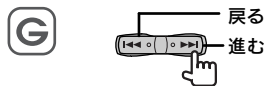


時計表示が点滅するまで押し続けます。

3 “時” を合わせます



4 “分” を合わせます

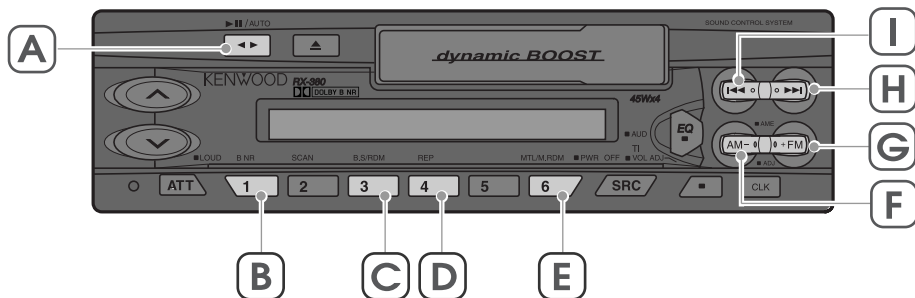


5 時計合わせを終了します



分を調整したときは、“00”秒からカウントがスタートします。

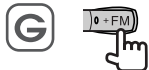
Tape Mode



早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り



巻戻し



途中で解除します



ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムを使用しているテープをプレイします。



押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン／オフされます。ドルビーB NRシステムがオンのときは、B NR インジケーターが点灯します。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン／オフされます。リピートプレイがオンのときは、REP インジケーターが点灯します。

カセットテープをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なカセットの聴きかたはEZ Operation (10ページ) をご覧ください。

テープポジションセレクト

ハイポジションテープをプレイします。



押すたびに、テープポジションがメタルテープ (Type IV) / クロムテープ (Type II) とノーマルテープ (Type I) に切り替わります。メタルテープ / クロムテープポジションのときは、MTL インジケータが点灯します。

ブランクスキップ

無録音部分を自動的に早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン/オフされます。ブランクスキップがオンのときは、B.S インジケータが点灯し、何も録音されていない部分が10秒間続くと自動的に早送りが始まりま

テープアドバンス

聴きたい曲を選びます。

今、聴いている曲を最初から演奏します



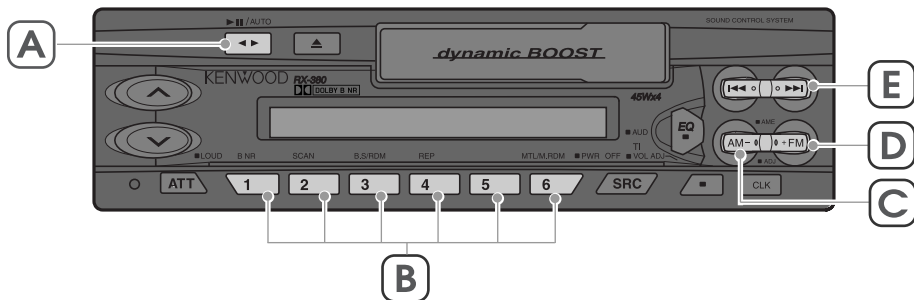
次の曲を最初から演奏します



途中で解除します



Tuner Mode



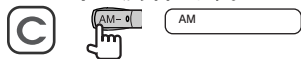
バンド切り替え

FM I、FM II、FM III バンドに切り替えます。



押すたびに、FM I / FM II / FM III バンドの順で切り替わります。

AMバンドに切り替えます。

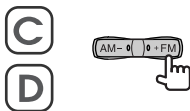


！ バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 チューニングモードを選びます



押すたびに、チューニングモードがオート1 / オート2 / マニュアルに切り替わります。チューニングモードがオート1のときは **AUTO1** インジケータが点灯し、オート2のときは **AUTO2** インジケータが点灯します。

3 放送局を選びます



チューニングモードがオート1のとき (AUTO1 インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、**ST** または **ST** を押します。

チューニングモードがオート2のとき (AUTO2 インジケータが点灯しています) メモリされている放送局を番号順に受信します。(プリセットメモリーの方法は19ページをご覧ください)

チューニングモードがマニュアルのとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

！ FMステレオ放送を受信すると **ST** インジケータが点灯します。

FM/AM放送を受信します。

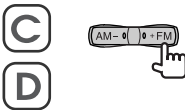
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送局の聴きかたはEZ Operation (10ページ) をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします



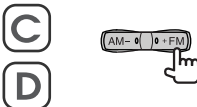
周波数表示が次々に変わりはじめるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

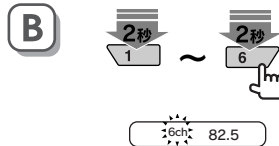
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます

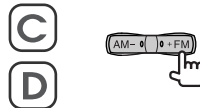


ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

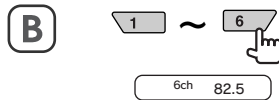
プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

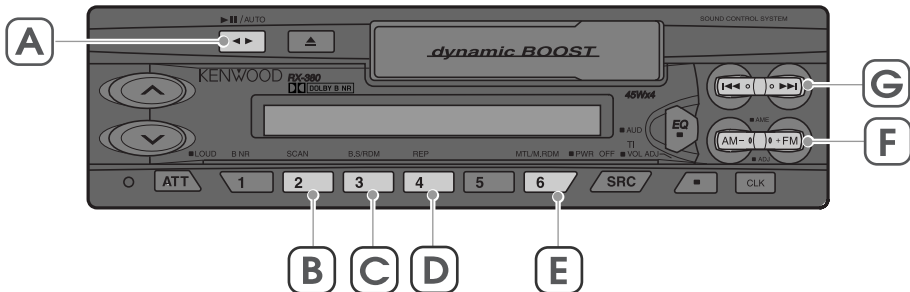


2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



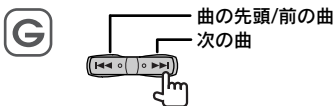
押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

External Disc Control



トラックサーチ

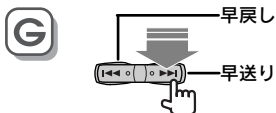
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へとトラックサーチします。

マニュアルサーチ

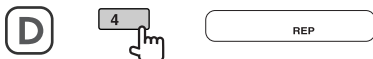
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



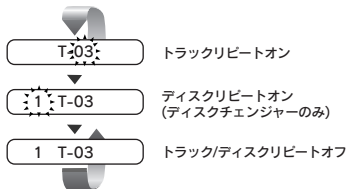
ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返してプレイします。

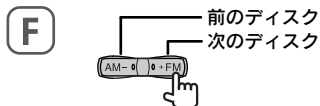


押すたびに、次のようにオン/オフします。リピートプレイがオンのときは、REP インジケーターが点灯します。



ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



10枚目のディスクは“0”と表示されます。

別売品のCDプレーヤーやディスクチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフします。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

● を押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)
マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフします。マガジンランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、トラックナンバーとディスクナンバーが点滅します。

● を押すと、次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 スキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイします。

を押してもプレイされます。

● すべての曲がスキャンされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時的に停止します。



もう一度押すと、プレイを再開します。

Help ? Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(28ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。

- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

音質が悪い (音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- ヘッドが汚れている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
- 「ヘッドクリーニングについて」(9ページ)を見て正しくヘッドクリーニングを行ってください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(28ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

チューナーの音が途切れる

カセットテープをイジェクトしている。

カセットテープのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音が出ます。

ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

FM/AM放送を聴いている。

チューナーモードでは低音のみが強調されます。

SRCボタンを押しても、チェンジャーコントロールモードに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品のユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。

- 接続されていないソースには切り替わりません。(別売品に付属の取付説明書を参照して正しく接続し直してください)
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が勝手に切り替わる

dB EQUALIZERがSCANモードに設定されている。

“dB EQUALIZER”(12ページ)を参照して、SCANモード以外に切り替えてください。

Tape mode

カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットテープが変形している。
- 逆向きに入れようとした。
- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- テープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、テープモードに切り替わらない

- カセットテープが入っていない。 カセットテープを入れてください。

カセットテープが演奏されない

- カセットテープが正しくセットされていない。
- カセットテープの不良。
- ▲イジェクトボタンを押して、再度カセットテープを入れなおしてください。
- 他のカセットテープを使用してください。

テープでリピート、テープアドバンスできない

- 曲間の無録音部分が短すぎる。 曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

- 録音レベルの低い部分が10秒以上ある。 ブランクスキップをオフにしてください。(17ページ)

ブランクスキップされない

- 無録音部分の雑音が大きい。 雑音が小さくなるよう録音してください。

音質が悪い

- テープポジションセレクターの設定が違っている。
- ドルビーB NRシステムの設定が違っている。
- プレイしているカセットテープのポジション (タイプ)を確認して、正しく設定してください。(17ページ)
- ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープか確認してください。(16ページ)

テープを取り出せない

- 車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。 テープを取り出せるのは、ACCスイッチをオフしてから10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

External Disc mode

チェンジャーコントロールモードに切り替わらない

- 本機のチェンジャー入力が接続されていない。 本機のチェンジャー入力を接続してください。「接続」(28ページ)を見て正しく接続してください。

ディスクチェンジャーモードを選択しても“AVin”と表示される

- O-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 内臓のマイコンが誤動作している。 リセットボタンを押してください。(8ページ)

ディスクがプレイしない

電源がオンになっていない。

電源をオン後、SRCボタンを押して、チェンジャーコントロールモードを選択してください。

選曲したディスクがプレイできない

- ディスクが裏返しである。
- ディスクが異常に汚れている。
- ディスクに大きな傷がある。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れなおしてください。
- ディスクのクリーニングをしてください。
- 他のディスクを使用してください。
- しばらく放置してから使用してください。
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ディスクを入れた場所と指定したディスクの番号が違う。
- トラックランダムプレイがオンになっている。

- イジェクトボタンを押して、マガジン内の指定するディスクの番号を確認してください。
- トラックランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(20ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(21ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

ディスクが順にプレイされない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(21ページ)

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-01** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全にセットされていない。
- E-02** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多くついている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
- E-10** : MDチェンジャーで演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
- E-11** : MDチェンジャーで演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-99** : ●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-Od** : ディスクチェンジャー内の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

取り付け時のご注意

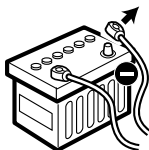
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



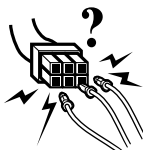
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



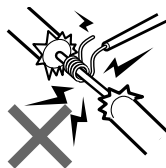
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

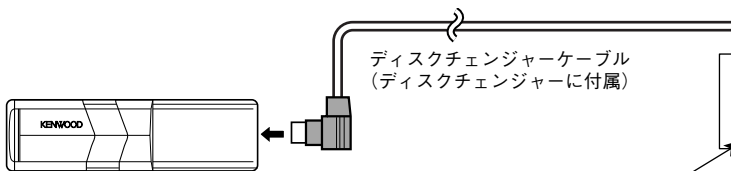
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-380に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。



! 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーのO-Nスイッチは“N”に設定してください。

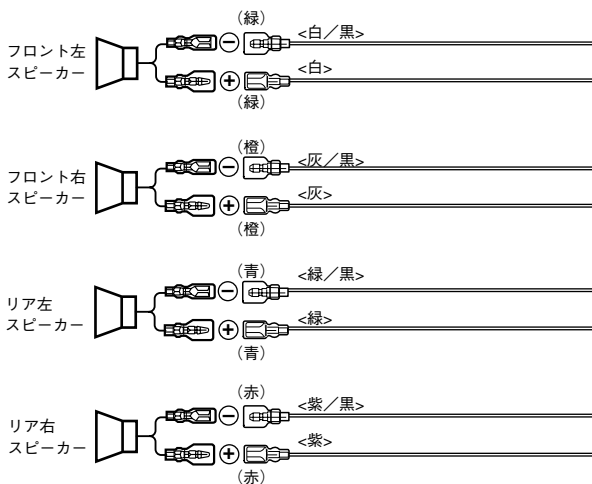
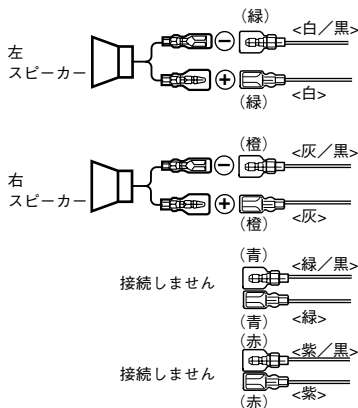
ヒューズ (10A)
(付属)

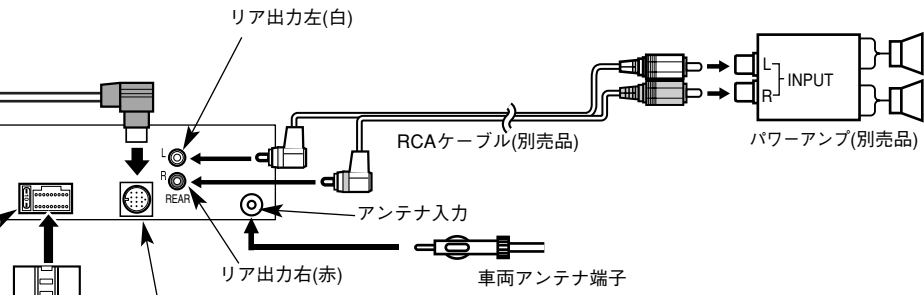


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法





ディスクチェンジャー/CDプレーヤー入力
 詳しい接続のしかたはディスクチェンジャー/CDプレーヤー
 に付属の取扱説明書をご覧ください。

電源
 ハーネス
 (付属)

ANT
 CONT

アンテナコントロール (青)

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

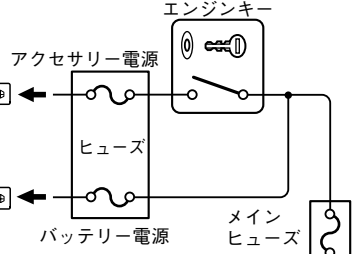
P.CONT

パワーコントロール (青/白)

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ACC

アクセサリ電源 (赤) ⊕
 エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。



BATT

バッテリー電源 (黄) ⊕
 メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに
 関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

アース (黒) ⊖
 車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシ
 などの一部) へ接続してください。

取り付け

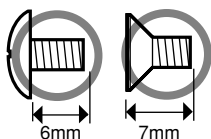
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



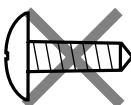
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



その他のネジ

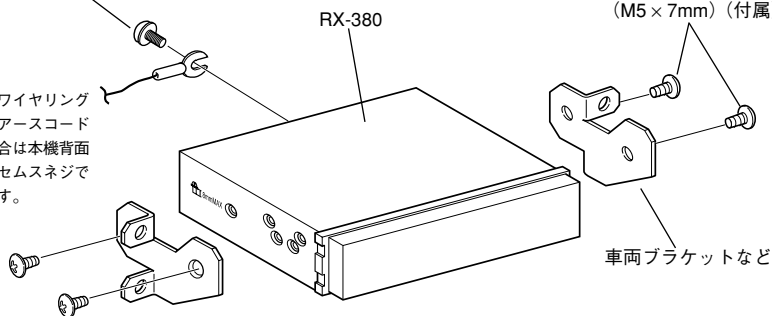


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm)	4
	サラネジ (M5 × 7mm)	4
	セムスネジ (M4 × 8mm)	1

セムスネジ
(M4 × 8mm) (付属)

● 別売品のワイヤリング
キットにアースコード
がある場合は本機背面
に付属のセムスネジで
固定します。



トラスネジ
(M5 × 6mm) (付属)
または
サラネジ
(M5 × 7mm) (付属)

車両ブラケットなど

● 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

カセットテーププレーヤー部

テープスピード	4.76 cm / 秒
ワウ & フラッター	0.08 % (WRMS)
周波数特性 (\pm 3 dB)	30 Hz~18 kHz (70 μ s)
ステレオセパレーション	43 dB (1 kHz)
S/N比 (Dolby NR off)	57 dB
(Dolby B NR on)	65 dB

オーディオ部

最大出力	45 W \times 4
定格出力	28 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1.8V/10K Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (低音)	100Hz \pm 10dB
(中音)	1kHz \pm 10dB
(高音)	10kHz \pm 10dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 152 mm
質量 (重さ)	1.3 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪府淀川区野中北2-1-22

お客様相談室 営業時間のご案内 AM9:20~PM5:40 (土曜、日曜、祝祭日および当社休日には休ませていただきます。)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。